

お わ り に

本年度から新学習指導要領が全面実施となり、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力をはぐくむ授業づくりを進めることが求められています。本校では、これからの3年間で特に思考力に焦点をあて、21世紀を生き抜く子どもたちに必要な、論理的にそして柔軟に考える力を育みたいと考えています。

これまでの3年間言語活動の充実のポイントをおいた研究に取り組んできたことを土台として、論理的な思考・多面的な思考・創造的な思考を行う学習活動をこれからの3年間で実践研究していきたいと考えます。

今年度は、東京大学の三宅なほみ先生をはじめとして、大学発教育支援コンソーシアム推進機構の先生にお世話になり、協調学習（本校では協同学習の一つの形態と押さえています。）の知識構成型ジグソー法にも取り組みました。教員対象の模擬授業では論理的思考力が爆発的に高まる経験を教員自身がすることにより、生徒どうしの関わり合いが思考力を伸ばせることを改めて実感しました。

この数年間、ペアや4人グループでの協同学習を取り入れた授業を積極的に取り入れてきましたが、1年次の本年度は論理的思考力を生徒相互のかかわりによっていかに高めていくかを各教科等において具現化できつつあると思います。

また、本校では、研究発表会以外に年に数回校内大研の名称で、各教科や道徳の公開授業・研究協議の案内を県内すべての中学校に送ってきました。夏には各教科に分かれてワークショップ型の研修会も新たに開催しました。これは少しでも広く実践を発信できる学校でありたいと考えたからです。

附属学校は地域の教育拠点として先進的な教育に取り組み、その成果を発信していくことが求められています。来年度も研究を一層積み重ね、より発信力のある学校をめざしてまいります。

本年度の実践については、私たちに然に見えてきたことを研究紀要にまとめました。一人でも多くの先生方にご一読いただき、皆様の忌憚のないご意見、ご教示をいただければ幸いと存じます。ご指導いただきましたことを糧に、私たちは、さらに研鑽を深め、研究を進めてまいりたいと考えています。

最後になりますが、本研究の推進や教育研究協議会の開催にあたり、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、和歌山大学教育学部をはじめとする関係各位の皆様、そして懇切なご指導と暖かい励ましをいただきました諸先生方に心よりお礼申し上げます。

平成25年3月

和歌山大学教育学部附属中学校
副校長 栗本昌彦

研 究 同 人

柏 栗	原 本	昌	卓 (校 長) 彦 (副 校 長)				
坂 上 穂 山 中 谷 辻 林 矢 樋 寺 飯 流 吉	田 口 原 刈 口 村 口 本 野 上 中 村 川 田	麻 智 一 康 正 英 佳 秀 充 督 万 浩 鎌 真	紀 子 弥 淳 平 樹 治 紀 彦 博 夫 美 晃 語 理	一 川 芝 大 高 羽 宮 松 三 竹 釣 神 T r a c y Edward	色 嶋 野 瀬 山 田 場 木 内 本 之 門	秀 径 大 麻 美 真 陽 浩 敏 正 享 由 実 山	之 代 也 傑 子 弓 平 一 治 和 子 子 本

平 成 24 年 度 転 出

西 寺 白 中	川 尾 井 迫	祥 憲 陽 伸	子 和 子 行
---------	---------	---------	---------